

## 物価の変化が均衡 GDP に与える影響

### —— 総需要 (AD) 曲線 ——

物価水準が低いほど、均衡 GDP は大きい。その関係を示す曲線を総需要曲線、または AD 曲線という。

#### I. 均衡の GDP —— IS-LM 分析の復習

##### A. 生産物需給と貨幣需給の均衡 (IS-LM の均衡)

###### 1. 生産物の需給均衡

$$Y = C + I = (a + cY) + I$$

ここで  $Y, C, I$  は GDP, 消費需要, 投資需要の実質価値

###### 2. 貨幣の需給均衡

$$\frac{M}{P} = L(Y, r)$$

ここで  $M$  は名目貨幣供給量,  $P$  は物価水準,  $L$  は実質貨幣需要量,  $r$  は利子率

##### B. GDP と利子率の決定

#### II. 物価から総需要への直接の影響

##### A. 貨幣的資産： 名目価値が不変の資産

1. 現金通貨
2. 預金通貨

##### B. ビグー効果 Pigou effect (実質残高効果 Real balance effect)

###### 1. 実質貨幣残高の変化

物価の下落 → 実質貨幣残高の増大 → 消費関数の上方へのシフト  
→ IS 曲線の上方へのシフト → 均衡 GDP の増大

###### 2. 派生的な問題

- a. 有効需要の増大にともなう利子率の上昇
- b. 利子率の上昇による投資需要の減少

#### III. 利子率をつうじて総需要におよぶ間接の影響 (名目貨幣供給量不変の前提)

##### A. 物価の下落が利子率に与える影響 —— GDP が変化しないとした場合の効果

実質貨幣供給量の増大 → 実質貨幣量の超過供給

→ 貨幣の需給均衡回復のため利子率の下落 → LM 曲線の下方へのシフト

##### B. 利子率の下落が総需要および均衡 GDP に与える影響

###### 1. 投資需要の増大と均衡 GDP の増大

利子率の下落 → 投資需要の増大 → 均衡 GDP の増大

###### 2. 派生的な問題

- a. 有効需要の増大にともなう利子率の上昇
- b. 利子率の上昇による投資需要増加効果の縮小

## 参考文献

教科書・第 6 章，第 1 節 (IS 曲線について)，第 2 節，148-149 ページ (LM 曲線について)，以上  
復習・第 6 節 (「総需要関数の導出」について)．第 9 章，第 3 節，250-251 ページ (ピグー  
効果について)．

なお第 3 章にも「総需要曲線」「総供給曲線」の説明があるが，そこは読まなくてよい．